

No. 1418

食品Gメン

年末から年始にかけてはおせち料理をはじめ多くの食品が出まわります。厚生省では不良食品を排除し、食中毒などの事故を未然に防止するため毎年12月を「食品および添加物の一斉取締り月間」とし食品機動監視員による一斉取締りを実施しています。東京都内でもさっそく食品Gメンが出動。今回の一斉取締りでは特にかまぼこなどの加工食品に重点が置かれました。あやしいとにらんだ食品は食品衛生研究所に持ち込まれきびしくチェックが行われます。最近冬期でも食中毒が多発しています。食品の取扱いには充分注意したいものです。

第66回院展

— 愛知県美術館 —

愛知県名古屋市の愛知県美術館では、今第66回院展が開かれています。日本美術院は明治31年岡倉天心が橋本雅邦らと創立したもので、東洋美術の正しい伝統を基礎として、栄えてきました。大正2年天心の死後再興され、以来今日まで66回の展覧会を重ねています。今回は奥村土牛、小倉遊亀、平山郁夫ら日本を代表する画家たちの作品300点が展示され、美術ファンを楽しませていきます。

鈴木改造内閣スタート

11月30日、臨時閣議で辞表をとりまとめた鈴木首相は、ただちに自民党三役及び閣僚の人選に入った。党三役、総務会長に田中竜夫氏、政調会長に田中六助氏、さらに幹事長には灰色高官、田中派の重鎮二階堂進氏が決定。しかし閣僚の顔ぶれは主要閣僚はほとんど留任、派閥均衡・順送りという従来のパターンは変らなかつた。閣僚名簿を発表する宮沢官房長官。来年はロッキード裁判の判決が出るが、注目の法務大臣には坂田道太氏。

「私には任が重すぎると思ったが総理からやれといわれたのでヤセ馬にムチ打ってやりますと答えた。司法の独立は民主主義の根幹だから厳正、公正にしたい」

外交面では防衛がらみの経済問題、内政面では税収不足に悩む財政など、難問山積の日本、国民世論より党内の意見を重視する鈴木改造内閣はこれからどうカジとりしていくのだろうか。